

社会教育における人権教育資料

(R6改訂版)

笑顔でつなぐ 明日への架け橋

～同和問題をはじめとする様々な人権課題の解決に向けて～



鹿児島県教育委員会

は じ め に

私たちの社会は、多様な価値観や背景をもつ人々が共存する場であり、すべての人が尊重され、平等に扱われることが求められています。人権教育は、このような共生社会を実現するための重要な基盤であり、個々の人権意識の高揚を図ることが不可欠です。特に、社会教育の場においては、地域住民や様々な年齢層の人々に対して、人権についての理解を深める機会を提供することが求められます。

人権教育は、単なる知識の習得にとどまらず、実際の生活や行動に結び付けることが重要です。私たちは、いじめや差別・偏見といった人権侵害の問題に対して敏感になり、これらを解決するための力を身に付ける必要があります。社会教育を通じて、人権課題について正しく認識し理解を深め、他者理解を通して共感する力を育むことが、より良い社会を築くための第一歩となります。

しかし、同和問題（部落差別）をはじめとして、女性、子ども、高齢者、障害者、外国人、性的指向及び性自認に関する人権問題が依然として存在しており、さらに、インターネット上の誹謗中傷、感染症等に関する差別や偏見など新たな人権問題も生じています。

こうしたことから、多様な背景をもつ人々が直面する課題に対して、私たち一人一人が理解を深め、共に生きる社会をつくっていくことが求められています。人権教育は、そのような意識を育むための重要な手段であり、地域全体で取り組むべき課題です。

令和5年度、「人権についての県民意識調査」（以下「意識調査」という。）が実施され、令和6年3月に報告書が出されました。

意識調査において、「国民一人一人の人権意識は、10年前に比べて高くなったと思いますか。」という問いに対し、「そう思う」の割合が、前回調査（平成30年度）の38.4%から1.7%増加し、40.1%となっています。しかし、「今の日本は、基本的人権が尊重されている社会だと思いますか。」という問いに対しては、「そう思う」の割合が、前回調査の32.8%から5.2%減少し、27.6%となっています。また、「人権が侵害されるようなことは、この5～6年の間に、次第に少なくなってきたと思いますか。それとも、次第に多くなってきたと思いますか。」という問いに対し、「少なくなってきた」が13.9%と減少したのに対し、「多くなってきた」は30.6%と、前回調査から11.6%増加し、人権が尊重され差別や偏見のない明るい社会を県民が実感するに至っていない現状があります。

こうした中、同和問題（部落差別）をはじめとする様々な人権課題の解決に向けて、県民一人一人が人権について正しく理解し、人権尊重の精神が具現化されるよう、県内各市町村で実施されている学習の機会において活用していただける「社会教育における人権教育資料『笑顔でつなぐ 明日への架け橋』」を改訂しました。本資料は、これまで社会教育関係者の研修会で使用した人権学習資料に加え、人権同和教育課が作成している人権教育研修資料「なくそう差別 築こう明るい社会」や人権同和対策課が作成している資料等を活用し、差別の根幹にかかわる問題として同和問題（部落差別）に重点を置いて作成しています。それぞれの地域や団体等の実情に応じて、本資料を有効に活用していただき、市町村における人権学習がより充実し、人権が尊重される社会づくりにつながることを願っております。

令和7年3月

鹿児島県教育庁社会教育課

笑顔でつなぐ 明日への架け橋

～同和問題（部落差別）をはじめとする様々な人権課題の解決に向けて～

目 次

【第1部】 わたしたちの人権と人権教育	
◇ 人権とは	1
1 人権とは	
2 人権教育とは	
◇ 人権教育の意義・目的	2
1 人権尊重の理念とは	
2 人権感覚とは	
3 社会教育における人権教育は	
◇ 人権に関する県民の意識（人権についての県民意識調査結果から）	3
◇ 様々な人権課題	7
【第2部】 社会教育における同和教育	
◇ 同和問題に関する基本的認識	8
・ 同和問題とは	
・ 同和問題の基本認識	
◇ 社会教育における同和教育の必要性	9
・ 令和5年度人権についての県民意識調査結果から	
・ 最近の差別事象（こんな事が起こっています）	
◇ 同和問題についての学習資料	11
・ 江戸時代の身分制度	
・ 差別の起こり	
・ 差別解消に向けた行動	
・ 同和問題の解決に向けた法令等	
【第3部】 社会教育における人権学習の進め方	
◇ 学習形態について	15
・ ワークショップ（体験的参加型学習）	
・ アクティビティで使われる学習手法	
① パネルディスカッション	
② ビデオフォーラム	
③ ブレインストーミング	
④ KJ法	
⑤ ダイヤモンドランキング	
◇ 学習展開例（展開例、ワークシート等）	
・ 人権一般（差別・偏見）	21
→ 人を差別しない子どもを育てる親のあり方について考える学習	
・ 同和問題	27
→ ビデオを視聴して、同和問題について考える学習	
・ 障害者の人権	31
→ 身体障害者の書いた手記を基にした学習	
・ インターネットによる人権侵害	37
→ 自分自身の経験を基に、インターネット上の人権侵害について考える学習	
【第4部】 人権同和教育に関する諸資料	
◇ 社会教育における同和教育推進上のチェックポイント	40
◇ 講演会・研修会を主催する際の留意点	41
◇ 広報・啓発活動での留意点	42
◇ 図書館等における史料等の取扱いについて	
◇ 憲法、人権に関する法律等	43